

茂原市自治基本条例を考える市民の会 第16回会議 概要

開催日時	平成24年9月27日(木) 18時～
開催場所	茂原市役所502会議室
出席者	実行委員会委員32名(うち7名所用のため欠席) 事務局(十枝企画政策課長、花沢企画政策課主幹、風戸企画政策課主査)
会議次第	1.開会 2.あいさつ 3.議題 (1) 条例づくり分科会について (2) その他 4.閉会
会議要旨	2.議題 (1) 条例づくり分科会について 【リーダー会議の結果報告】 ・記録係の負担軽減について。録音して記録を作成していただいている記録係の委員もいるが、負担が大きい。各自がメモを取る、前もって打ち合わせ項目を決めておくなどの工夫が必要。 ・河野委員からパブリック・インボルブメントについての提案がメーリングリストに流れたが、ある程度基礎が固まってからではないと一般の市民の皆さんに聞きに行ったところで何を聞いていいのかわからないのではないかと。(事務局)パブリック・インボルブメントは2段階あってもいいと考えており、自治基本条例についての検討が深まってから市民の皆さんにどうですかとお聞きするのが一つ。もう一つには、実際に地域で活動に取り組んでいる団体に現状の取り組みや課題、悩みを聞いてくるというもの。まずはそこから取り組みたいということで、中の島地区社協にアポを取り、9月29日に訪問することになった。お話を伺って11月発行の自治基本条例だよりに掲載したい。 ・他の団体についても取材してはどうか。先行して取り組んでいる団体について聴取し、複数を手分けしてヒアリングするのもいい。 (事務局) その際には地域の課題について聴取するというので、以前のまちづくり分科会(教育・子育て、福祉、環境・都市計画)のくくりにもどって手分けすることになると思う。 【分科会ごとのグループワーク振り返り】 ○A分科会(議会) 議会の抱えるいろいろな問題について、北田リーダーが作成したレジュメに沿って議論の内容を整理した。議会からの情報の出し方など、議案が直前

になって公表されるのでは傍聴に行けない。働いている人たちにとっては平日の昼間では傍聴に行きたくても行けない。傍聴できるような開催の仕方が必要。投票率も低く、政治に関心が低い。

分科会間の議論の分担で住民投票や実効性の確保を C 分科会から移すという話があり、住民投票について議会との関係も含めて議論したが、意見が一致しなかったため仕切り直しとしたい。

○B 分科会（行政）

行政の抱える問題点の洗い出しを行い、「情報」「人事」「財政」「自治」「組織」の 5 つに大別された。

このうち、「情報」については発信の方法・スピード、誰に向かって発信するか、情報を受け取る側と出す側のギャップなどの問題が挙げられた。

また、「人事」については職員の質の向上、職員の育て方、市民と職員が対等の立場で話し合うことなどが挙げられた。

あと 3 つのテーマまで及ばなかったので、10 月 2 日（火）に延長戦を行う。

○C 分科会（地域自治・市民）

「情報共有」と「協働のまちづくり」について話し合った。次回はまちづくりにおける地域活動、非営利活動団体等について話し合う予定。